

毛織物の技術力と製品PR

尾州産地バスツアー

毛織物の一大産地で、羽島市と愛知県の西尾張地方を指す「尾州産地」。その技術力や製品を全国にPRしようと、岐阜県毛織工業協同組合（羽島市）がアパレル関係者を対象にしたバスツアーを開いている。伝統の技術に触れてもらい新製品のアイデアを膨らませる機会などにもしてもらいたいと考えた。

（水越直哉）

羽島でアパレル店員ら見学

尾州産地は、毛織物で 今月一日の回には、東国内生産量の八割を占め 京から岡山までの各地の産地が、後継者不足や安価 デザイナーやアパレル店員ら約二十人が参加。羽島市正木町不破一色の三星染整では、生地を染め、星染整では、生地を染め、の関心を高めるきっかけ 星染整では、生地を染め、にしつため、組合 たり光沢を出したりする工程を見学した。

工場長が、表面を起毛

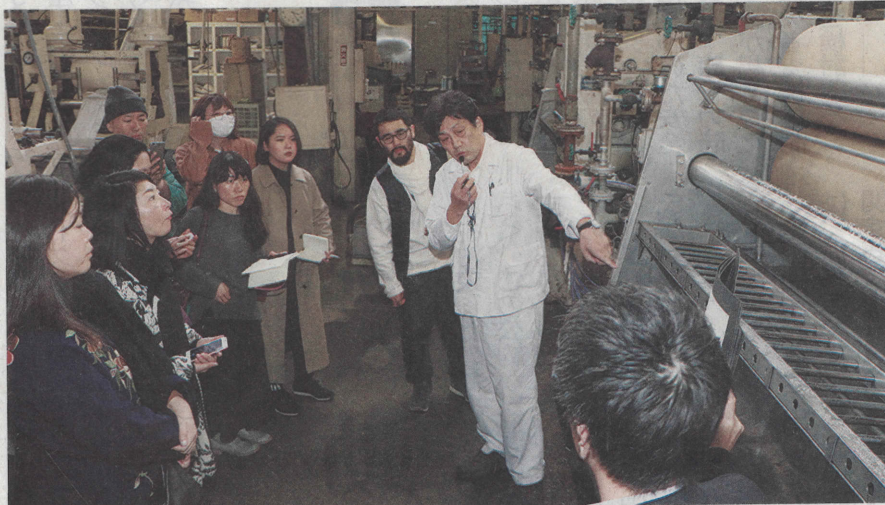
開かれる予定。

ツアーは四月五日にも

させる機械の仕組みなどを説明。参加者は真剣な表情で写真やメモを取り、「最小ロットはいくらですか」などと質問していた。

日本製の素材を使ったブランドを立ち上げたいという刺しゅう業加藤千

尋さん(左) 岐阜市御望は「どの機械も年季が入って、風合いがあると聞いた。一つ一つの生地がユニークで、今後の活動の参考にしたいです」と話した。



生地を加工する機械の説明を聞く、バスツアーの参加者たち（左側）＝羽島市正木町不破一色の三星染整で